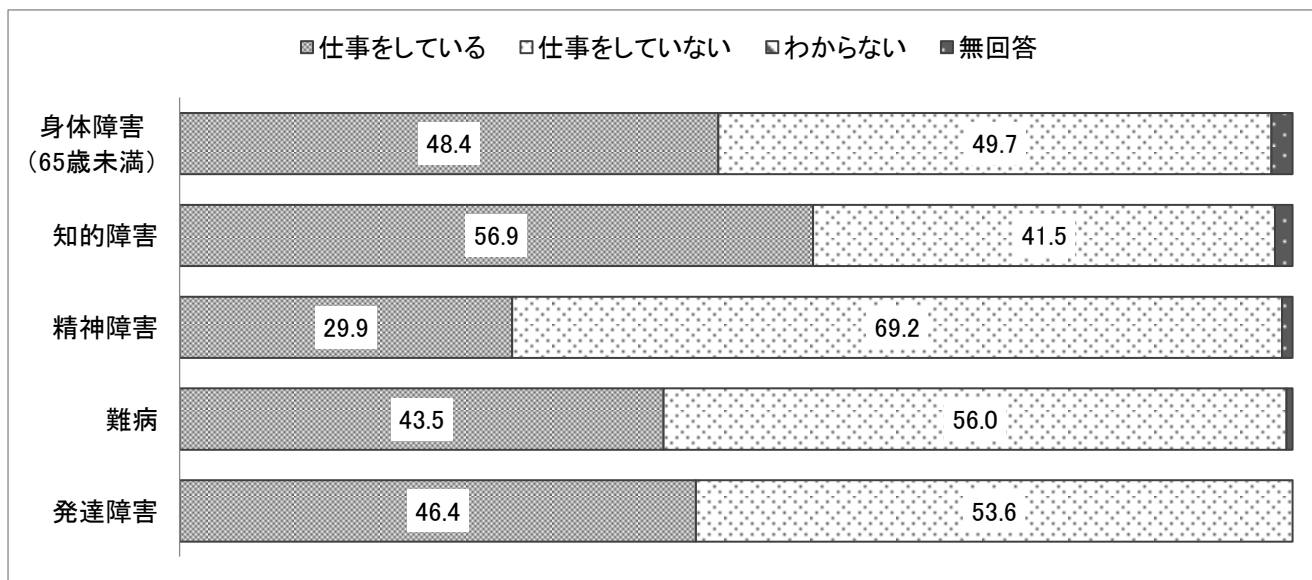


仙台市障害者等保健福祉基礎調査 アンケート結果（概要）【就労】

1 就労状況

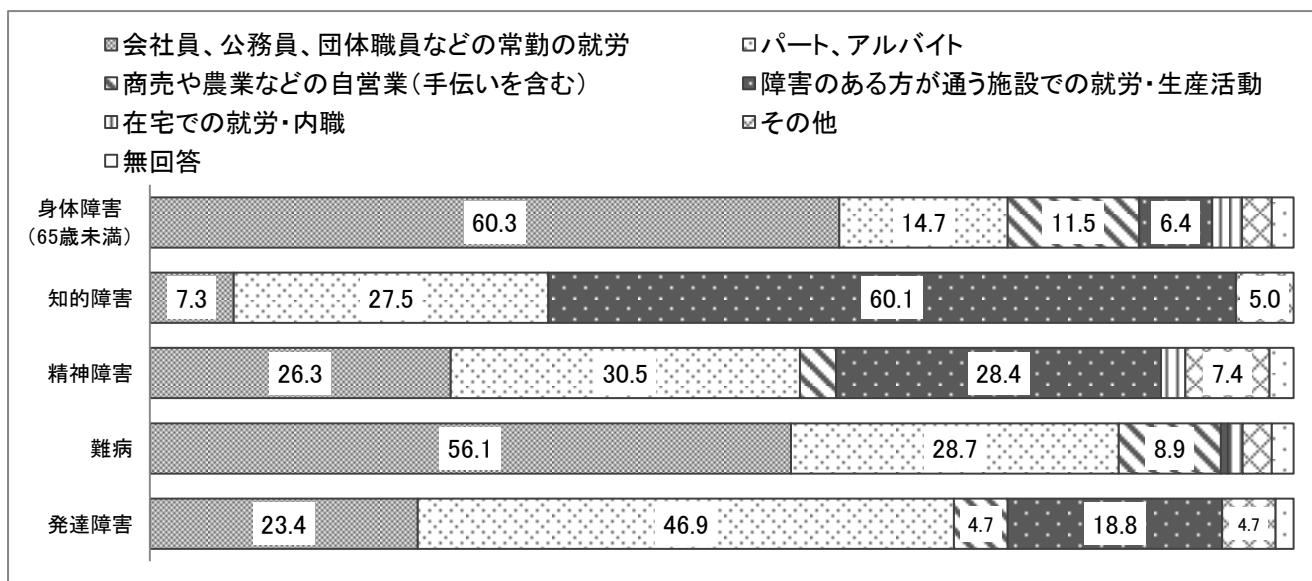
(1) 現在の就労の状況

仕事をしていると回答した方について、知的障害では半数を超えているが、それ以外の障害では半数以下となっている。



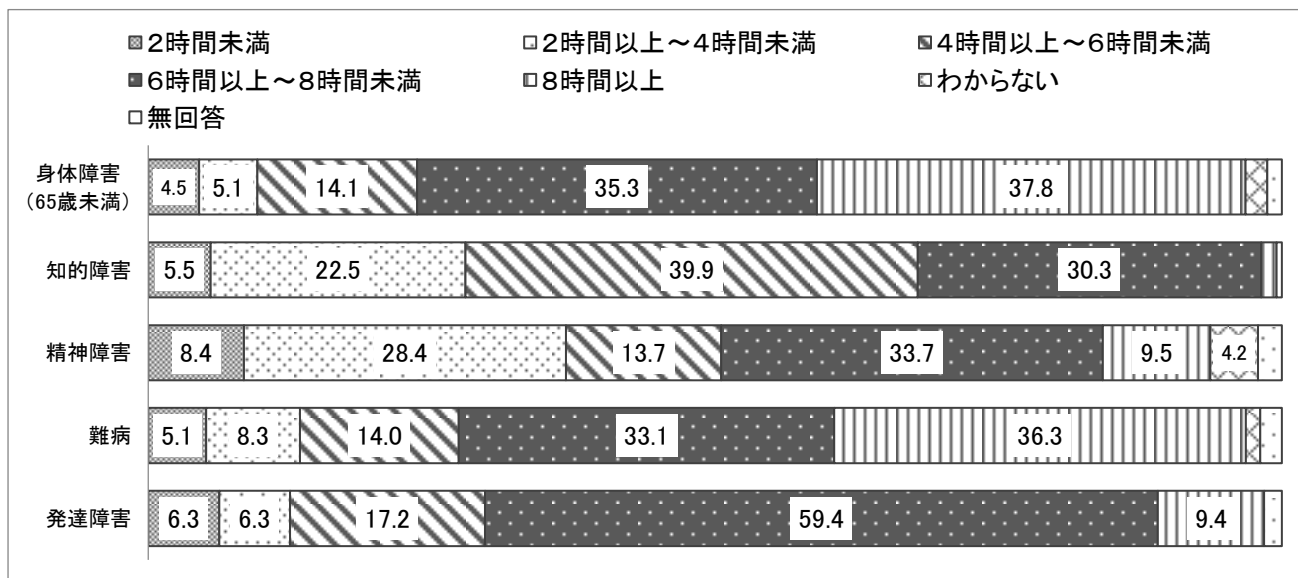
(2) 仕事の形態について

身体障害（65歳未満）、難病は常勤が多く、知的障害は通所が多く、精神障害、発達障害はパート・アルバイトが多い。



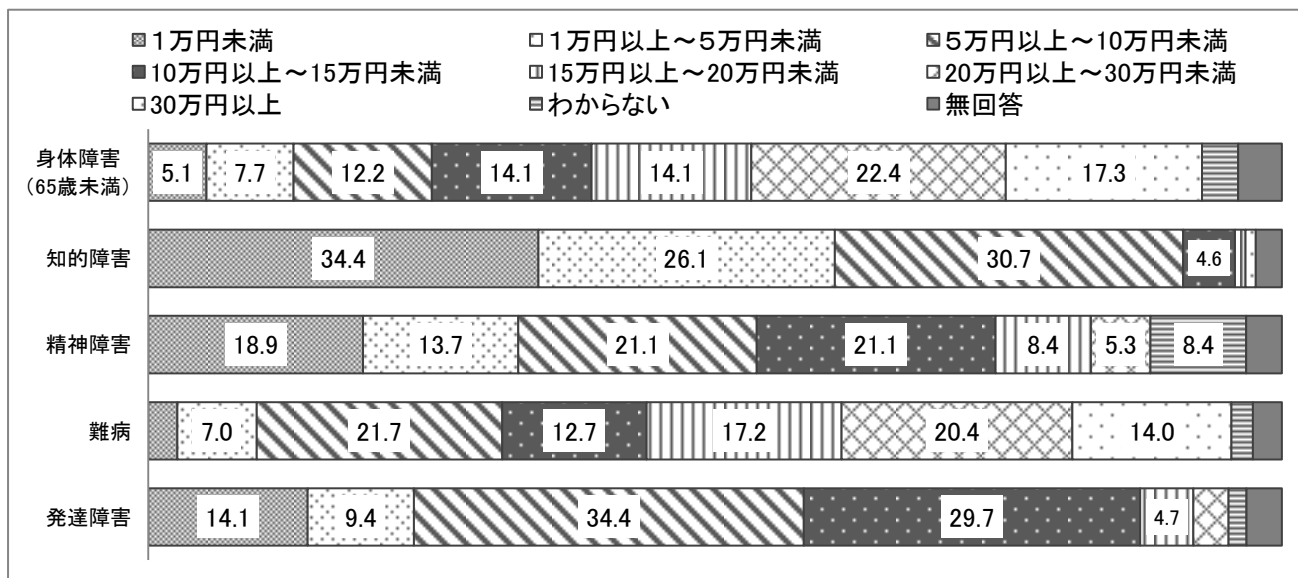
(3) 勤務時間について

身体障害（65歳未満）、難病では8時間以上が多く、精神障害、発達障害では6時間以上～8時間未満が多く、知的障害では4時間以上～6時間未満が多くなっている。



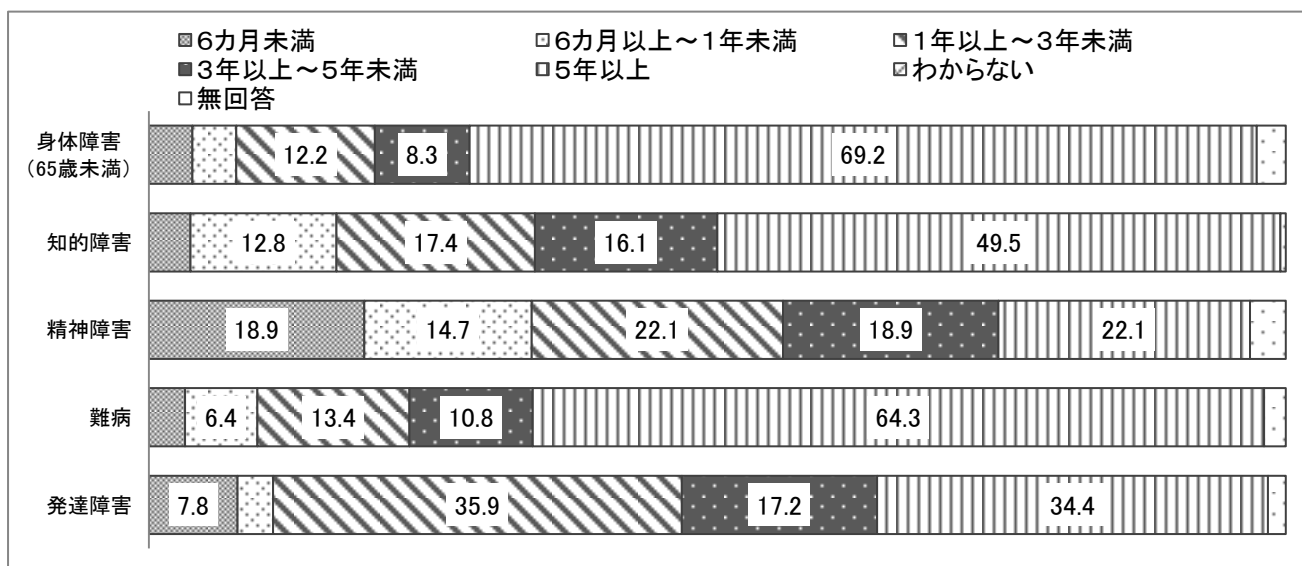
(4) 月額収入

身体障害（65歳未満）では20万円以上～30万円未満、難病、発達障害では5万円以上～10万円未満、知的障害では1万円未満が多くなっている。



(5) 仕事の継続期間

全体的に5年以上仕事を継続している方が多いが、精神障害で仕事の継続期間のばらつきが大きい。



(6) 仕事の悩み

全体的に、「収入が少ない」ことが悩みとなっているが、「人間関係がうまくいかないこと」、「就労時間や仕事の内容の負担が大きいこと」、「症状の変動・体調の波があること」についての悩みも多くなっている。一方で、「特に悩みはない」と答えた方も多い。

(単位: %)

	身体障害 (65歳未満)	知的障害	精神障害	難病	発達障害
職場の人たちが障害をあまり理解していない	15.4	9.2	9.5	8.9	23.4
人間関係がうまくいかない	6.4	23.4	21.1	7.6	29.7
収入が少ない	31.4	32.6	47.4	31.2	40.6
就労時間や仕事の内容の負担が大きい	17.9		13.7	13.4	9.4
症状の変動・体調の波がある	15.4		46.3	24.2	15.6
特に悩みはない	28.8	26.1	14.7	31.8	14.1

※各種別上位3位まで回答されたもののみ抜粋し、上位3位を網掛け

(7) 仕事を続けるために必要なこと

全体的に、「生活できる十分な賃金」が求められているが、それぞれの障害種別において、「体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること」、「ジョブコーチなどの支援」、「障害の程度・特性にあった仕事であること」、「周囲の方が障害を理解してくれること」が必要とされている。

(単位：%)

	身体障害 (65歳未満)	知的障害	精神障害	難病	発達障害
生活できる十分な賃金	41.7	33.5	54.7	49.7	48.4
体調に合わせて勤務日・勤務時間を調整できること	22.4	17.4	35.8	29.3	15.6
ジョブコーチなどの支援	0.0	36.2	6.3	0.6	28.1
障害の程度・特性にあった仕事であること	14.7	44.5	26.3	7.0	45.3
周囲の方が障害を理解してくれること	23.1	33.9	24.2	12.7	42.2
特になし	17.9	6.9	8.4	22.3	4.7

※各種別上位3位まで回答されたもののみ抜粋し、上位3位を網掛け

2 就労していない理由

全体的に、「病気のため」が多くなっているが、「体力的にできないため」、「障害の程度・特性にあった仕事がないため」も多くなっている。

(単位：%)

	身体障害 (65歳未満)	知的障害	精神障害	難病	発達障害
高齢のため	6.3	8.8	15.5	45.5	1.4
病気のため	35.0	26.4	64.5	50.0	13.5
体力的にできないため	27.5	8.2	31.8	38.1	9.5
障害の程度・特性にあった仕事がないため	33.8	37.7	24.1	6.9	23.0
在園・在学中、職業訓練中のため	0.6	12.6	3.2	4.5	58.1
その他	13.8	26.4	11.8	9.9	12.2

※各種別上位3位まで回答されたもののみ抜粋し、上位3位を網掛け

3 障害福祉サービスの利用状況・利用意向（就労に向けた支援サービス）

知的障害、精神障害、発達障害で現在の利用が多くなっているが、全体的に将来の利用意向はやや低くなっている。また、精神障害、発達障害においてサービスへの不満が高くなっている。

(単位：%)

種別	(A) 現在の利用状況	(B) 将来の利用意向	(B) - (A) 将来-現在	不満
身体障害 (65歳未満)	3.7	5.3	1.6	14.0
知的障害	33.6			
精神障害	27.7	24.2	▲ 3.5	41.5
難病	0.6	2.8	2.2	9.4
発達障害	41.3	30.4	▲ 10.9	32.0

4 今後充実してほしい施策・今後のことで不安に感じていること

「障害があっても働ける場所の確保」に対する要望は高く、特に精神障害、発達障害で顕著である。また、今後の不安については、「仕事が続けられるか」「仕事をしたいが受け入れてくれる企業があるか」という点について、発達障害において回答が多くなっている。

(単位：%)

種別	充実してほしい施策	今後の不安	
	障害があっても働ける場の確保	仕事が続けられるか	仕事をしたいが受け入れてくれる企業があるか
身体障害 (65歳未満)	29.8 (3)	20.2 (6)	8.4 (9)
知的障害	27.9 (3)		6.0 (6)
精神障害	43.7 (2)	15.1 (8)	18.6 (6)
難病	15.5 (5)	14.1 (7)	8.0 (8)
発達障害	55.1 (1)	30.4 (4)	34.8 (3)

※ () 内は、複数の選択肢のなかで回答されたものの順位